



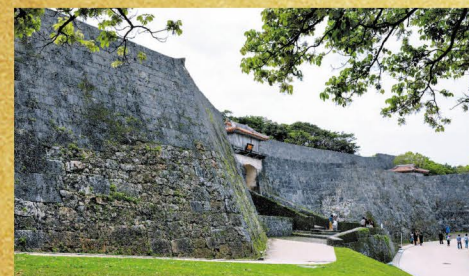
2 園比屋武御嶽石門 (そのひやうたきいしもん)

国王が外出する時の安全をこの石門の前で祈願しました。1519年に創建されましたが、沖縄戦で一部破壊され、1957年に復元。2000年12月に琉球王国のグスク及び関連遺産群の一つとして世界遺産に登録されました。



4 広福門(こうふくもん) ※券売所

扁額の「広福」とは「福を行き渡らす」という意味。建物自体に門の機能があり、東側は戸籍を管理する「大与座(おおくみざ)」、西側は寺や神社を管理する「寺社座(じしゃざ)」がありました。現在は券売所に使用されています。



城郭の石積み

首里城の城郭には加工しやすい琉球石灰岩が用いられ、日本の城郭とも異なる曲線を描いているのが特徴で、防御のためでもありました。王国時代の石積みと新たに復元した石積みをご覧ください。



1 守礼門(しゅれいもん)

扁額を掲げる中国の牌楼に似た形式の門。王城へ向かう本通り途中の上の方にある美しい門として庶民からも愛されました。扁額の「守禮之邦」は、「琉球は礼節を重んずる国である」という意味。1527~1555年に創建。沖縄戦で破壊され、現在の門は1958年に復元されたものです。



3 龍樋(りゅうひ)

龍の口から水が湧き出ていることが名の由来。瑞泉門の手前にあり、王宮や賓客の大切な飲料水でした。



6 正殿遺構(せいでんいこう)

首里城の中心的建物が正殿であり、遺構とは古い建物の一部として残されたもの。土台の石積みから17世紀以前に正殿が度々建て替えられていたとわかります。世界遺産登録されている首里城跡の中でも直接目にできる大変貴重なものです。



7 世誇殿(よほこりでん)

国王が亡くなると、次期国王の即位の礼が行われた場所。普段は、未婚の王女の居室として使用されていました。

8 東のアザナ(あがりのあざな)

城郭の東側に築かれた物見台。首里城城郭内一帯や城下をはじめ四方を見渡することができます。さらに那覇市街地や晴れた日は慶良間諸島などが一望できます。

首里城公園

琉球王国の政治・外交・文化の中心地として威容を誇った首里城

荘厳な城門をいくつも通ると現れる正殿は、琉球王国最大の木造建造物でした。中国と日本の築城文化を融合した独特の建築様式や石積み技術には、文化的にも歴史的にも高い価値があるとされ、世界文化遺産に登録されました。他にも園内には、守礼門や園比屋武御嶽石門、円覚寺跡などの文化財が点在しています。2019年10月31日、正殿等は火災により焼失いたしました。現在、首里城公園は城郭内の一部区域を除きご利用を再開しております。また、正殿復元は2026年完成を目指しております。引き続き首里城の復興に努めてまいります。



→ 「見える復興」見学コース
(所要時間約1時間30分)

他にもモデルコース(4コース)をご案内しております。HPやチラシをご確認ください。

→ バリアフリーコース
(所要時間約1時間20分)

→ 首里駅からのアクセスA

→ 首里駅からのアクセスB

無料区域
有料区域

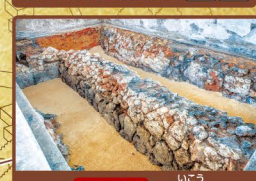
車イス・杖・ベビーカーの無料貸出し

首里杜館と奉神門にて貸出しを行なっています。お近くの係員へお申し付けください。

立入規制エリア

網かけエリア外は順路に沿ってご見学いただけます。

首里城復興展示室



世界遺産 遺構

改札

首里森御嶽



大龍柱補修展示室

京の内

系図座・用物座

券売所

西のアザナ

木曳門

金城町石畳道入口

首里杜館前売店

駐車場入口

総合案内所

駐車場入口

首里城公園管理センター

玉陵入口

世界遺産 国宝 玉陵

- 案内所
- 貸出センター(車イス・杖・ベビーカー)
- 喫煙所
- 公衆電話
- トイレ
- AED(自動体外式除細動器)
- エレベーター
- ATM
- 授乳室
- 駐車場
- エスカレーター
- 飲食店
- 救護室
- 駐輪場
- コインロッカー
- 売店